

あおもり民医連

2019年7月16日発行

第282号

【8面オールカラー】発行部数2,861部

発行元／青森県民主医療機関連合会

所在地／〒030-0822 青森市中央三丁目 10 番 2 号

TEL. 017 (723) 4076

FAX. 017 (773) 5326

URL <http://aomin.jp/>

e-mail info@aomin.jp



「えんたくん」を使ったグループディスカッション



講師の本田 宏氏

二〇一九年五月二十五日に初めての県連単位でのジャンボリー主催企画を無事に行うことが出来ました。今回、開催するまでの間に多くの方が内容に賛同いただき、参加者を出していただきました。本当にありがとうございました。

ジャンボリー小委員会では企画を行うことは、実は何年も前から取り組みたいと感じていました。しかし、地協・

委員内では話が上がっていたことであり、OB・OGの方や青年委員会の立ち上げ時にも会議で討議事項になっていました。今回、こうして実現出来たことがまずは嬉しく思います。

東北ジャンボリーを二〇一四年に青森県で開催はしていましたが、当時とはメンバーの入れ替えもあり、経験している委員が少なくなっていました。そのため、開催するにあたって、どのようなテーマで行うのか、講師を招いて学習をするのか等、なかなか意見も出ず最初はスムーズに話し合いが出来ていかなかったように感じています。しかし、地協・

全国での実行委員経験者を中心に、徐々に内容もまとまってアイズブレイクの内容や、何に重きを置き、参加者に感じて欲しいのか等も委員内で共有も出来、運営側としても実りのある企画になりました。

当日の本田宏先生の講演内容は、日本の社会保障の現状や青年職員に対するメッセージも伝えていただ



交流会の様子

きました。講演終了後のグループワークでは各グループで積極的な発言が見られ、委員も班長として入ることで、ファシリテーションの能力を付けることが出来たかと思えます。

今後の課題としては、開催するにあたっての下準備や募集する際にも、職場の上司の方にも、もっと分かりやすく理解して頂き、参加してみたいと思える伝達をできればと思います。

青年職員の育成の為、様々な企画をジャンボリー小委員会で開催出来ればと思っています。今後ともご理解、ご協力の程宜しく願います。

(県連青年ジャンボリー小委員長／対馬周也)

県連青年ミニジャンボリーを終えて

県連青年ミニジャンボリー

参加者感想をご紹介(原文のまま)

ジャンボリーについての感想

● 今までジャンボリーについては名前だけ聞いたことがあつてよく分からなかったのですが、今回のお話でなんとなく分かりました。普段他の法人、職場の人とはあまり関わることがないのですが、こういったものは積極的に関わることができる良い機会だと思いました。

● ジャンボリーの活動は、仕事を長く続けられるよう職場内だけでなく職場外でも交流しているところがありました。他職種の方とも交流をもつことで効率よく働けると思います。

本田宏先生の講演を聞いて

● あつという間の講演でした。それまで自分で考えるというよりは、周りをみて、周り(大多数の意見)にあわせることが多かった。自分の考えをもつことがあまりなかったため、すぐには難しいかもしれませんが、情報を整理したり、勉強しているんなことに関心を持ちたいです。そして自分の考えを堂々と伝えるようになりたい。

● 日本の医療費や社会保障、医師不足などの現状について学び、正しい情報を知ることの大切さを改めて感じました。日本の内側だけに目を向けるのではなく、世界と比較し、自分から知り、考える人間にならなければいけないと思いました。

● 日々身を粉にして働いているのに病院は赤字だ、給料は上がらない、なぜだろうと思いつつ広い視野で見る余裕がないので流れるままだったが、その原因が少しわかったし、これからも疑問を持ちつけていきたい。

2019年度

6/2

北海道～青森引継集会

(平和公園)

原水爆禁止 国民平和進行



6/6

日本海コース

(弘前～矢立峠)

6月6日(木)に弘前市で2019年度原水爆禁止国民平和進行が開催されました。弘前市役所で出発式をおこない、市内を行進した後、青森県と秋田県の県境にあります矢立峠を目指しました。私は今年で4回目の参加となりますが、年々参加者の数が減っているように感じました。少し寂しさもありましたが、それでも行進中はお店やご自宅から外へ出て手を振って下さる方もいて、元気を貰いながら、最後まで行進をすることができました。



(弘前調剤センター／佐々木良太)



6/6

太平洋コース

(浅虫～野辺地～八戸)

6月6日(木)、十和田・三沢方面にかけて原水爆禁止国民平和進行が行われました。

農作業が行われる田園を歩き『七戸町』、小川原湖を背に商店街を歩き『東北町』、近代芸術が彩る街中を歩き『十和田市』、産直品が並ぶ道の駅を歩き『六戸町』、寺山修司の足跡が残る市中を歩き『三沢市』、多くの方々と触れ合い平和についての共有が図れたと感じました。



また、各役場内で市長や町長の方々へ、核兵器の無い平和な世界への願い、平和進行の意義も直接会って伝える事も出来ました。今回の平和進行が次の世代へと繋がり、平和への願いや声が大きくなっていけばと願います。(青森保健生協 総務部施設設備課／葛西直哉)



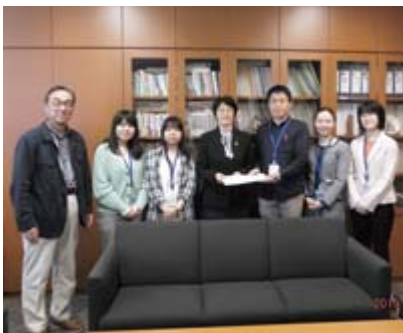
国会議員要請行動・学習会

国会議員との対話を通じて 民医連の声を国会へ届けよう

二〇一九年五月十五日、衆議院第一議員会館にて「5・15国会議員要請行動&学習会」が開催されました。青森県連からは私を含めて二人が参加しました。

私は今回初めて要請行動に参加しました。当日はまず高橋千鶴子議員からの情勢報告があり、次に全日本民医連の林泰則次長と山本淑子次長から、「社会保障をめぐる情勢について」の学習会がありました。社会保障制度改革の流れが「縮小化」「産業化」「互助化」を推し進める流れとなっているので、国の責任で社会保障の拡充を求めていく運動を進める必要があると学びました。

要請行動では北海道民医連の方々と一緒に行動をさ



せていただきました。今回の行動では、青森県の高橋千鶴子議員、北海道の紙智子議員と佐々木隆博議員の議員室を訪問させていただき、全日本民医連として準備していた四種類の要請文をお渡ししました。

民医連の活動がこのような形で国会とつながっていることを体験し、日々の実践の中からの「気づき」を発信し、社会保障を継続していくことの大切さを感じました。

(おもりに協立病院／算用子恵)

第49回

県連医師総会開催

青森県医師連第49回医師総会が、5月25日（土）10時～14時市民交流館ホールにて「青森県医師連のこれからをみんなで展望する」をテーマに89名（医師43名）の参加で開催しました。

石田医師委員長の基調報告では、県連の医師の現勢と、今後の展望が報告されました。大幅な医師増の見通しはなく、高齢化が進んでいくことが予想されるが、一方で地域枠奨学生が義務年限を終えて県連に合流し始める展望について語られました。



る県連外研修報告と初期研修報告は、研修で得られたものが良く伝わり、それぞれの医師の個性が光る報告となりました。

第2部のパネルディスカッションでは、各世代を代表する医師が「なぜここで頑張っているのか、何を大事にしながら診療にあたっているか」を語りました。その中から世代を超えた「共通項」を見出すことを目的として行いました。1グループ4名の少数編成としたこともあり、予想以上にSGDは盛り上がりました。SGD後のフロアからの発言では若手医師からも積極的に手が上がり、加えて相馬医師の采配もあって世代や事業所に偏りなく、キラリと光る発言が相次ぎました。



参加者より「これまでにない医師総会になった。県連の医師の共通項というものを考えさせられた。」「バリエーション豊かな先輩がいるのだなと思えました。」「世代別という区切りが独特でかつ刺激的でした。グ



ループ、世代の意見の違いがおもしろかった。」「講演会の形も大切だと思いますが、このようなスタイルもいいですね。」「この人はうちの病院じゃない」と思う感覚に共感した。『一緒に働く人を大切に』という言葉が印象に残った。自分も県連内で研修している意味を考えさせられた」など感想が寄せられました。（青森県医師連事務局次長／篠原奈緒）

5.11 看護・介護ウェーブ

～ねぶた囃子のサウンドデモ～



5月11日（土）、看護・介護ウェーブが開催されました。アウガ前で白衣・ユニフォーム宣伝署名行動を行いました。風が強かったせいか、足を止めて署名を行ってくれる方は残念ながら多くはありませんでした。

その後青い森公園へ場所を移し、集会～サウンドデモが行われました。介護・看護・リハビリのどの現場



でも人手不足により悲鳴をあげています。時間と業務に追われ、思うような、満足のいくケアが提供できず、フラストレーションを抱えてい

ます。また、激務により心身に不調をきたす職員もいます。勤務が厳しくとも賃金はあがらない、子供に進学をあきらめてもらったという家庭もあるそうです。

集会の後は、初の試みのねぶた囃子を使用したサウンドデモが行われました。ねぶた囃子に合わせて、県庁周辺をリズムカルにデモ行進しました。

安心安全の医療の為には、医療従事者の確保が急務です。私たちの健康がなければ、患者様・利用者様の健康は守られません。今後も声を上げ続けていかなければならないと実感しました。（生協さくら病院／玉熊ゆかり）



サウンドデモの様子

何故、今、民医連綱領を学習するのか

民医連綱領学習を経営改善に繋げる(八戸会場)

6月12日、八戸医療生活協同組合本部の大会議室にて、「民医連の綱領と歴史を学ぶ大運動キックオフ集会in八戸」を開催し、職員51名が参加しました。講師には全日本民医連事務局次長、長野民医連事務局長の岩須靖弘氏を招き「民医連の綱領と歴史～何のために誰のために～」について講演していただきました。

八戸医療生活協同組合は現在、本部、診療所1ヶ所、介護事業所8ヶ所の合計10の事業所で形成されています。職員数は4月1日時点で正職員・パート職員合わせて159名です。今回



の学習会には全体の約3分の1にあたる51名が参加しました。八戸は介護事業所が収益の主を担っています。介護事業は今後さらに需要が高くなりますが、同時に各介護事業体で利用者の奪い合いが激化してくことが予想されます。民医連は「無差別・平等」を掲げ、「医療を民衆の手に」という思いから誕生しました。民医連綱領、引いては民医連の歴史を学ぶことで、各職員の業務への姿勢がこれまで以上に向上、民医連職員として一歩進んだ職員になることが期待されます。これは現在含め将来的な利用者の確保、利用者から選



ばれる事業所になる為に必要なことです。民医連綱領の学習による職員の質の向上が経営の安定、改善に繋がっていくと思います。今回の学習会に参加した職員からも「綱領を学び職場づくりに取り組みたい」等、学習を前向き捉えた感想が多く挙がりました。各事業所とも大変忙しい状況ではありますが、民医連学習に積極的に取り組み、これからも地域から選ばれる事業所にしていきたいと思っています。(八戸生協診療所 主任補佐/佐々木啓太)

民医連綱領学習

キックオフ集会を終えて (青森・弘前会場)



講師 全日本民医連事務局次長 岩須靖弘氏

6月10日は青森、11日は弘前で、青森県民医連主催「民医連の綱領と歴史を学ぶ大運動キックオフ集会」が計451名の参加で開催されました。

講師の全日本民医連事務局次長の岩須氏からは「民医連綱領を正しく理解し、実践出来なかった事で医療事故や倒産など様々な事件が起こった。民医連歴十年未満の職員が全体の50%以上になった今こそ、過去を学び、私たちの存在意義や原点を再認識する必要がある。」と綱領学習の意義が説明されました。キックオフ集会

を終え、ブックレットを読了するだけではもったいないと毎週の読み合わせの他に、職場討議時に出た質問に対し事務局が回答し、職場と病院全体とで綱領学習を推進する取り組みを計画している事業所もあります。

民医連綱領を実践し、何十年後も地域から信頼され続ける事業所として、法人の未来を創るために、綱領の学習を一層推進します。

(綱領学習推進委員会/長谷川 聖)



弘前会場の様子

消費税増税反対！ 辺野古の海を守ろう！

5・24中央集会、5・25全国総行動に参加して

日比谷野外音楽堂、国会前の集会とはどのようなものなのか？！

みなさんもよくテレビなどで見る国会前や日比谷野外音楽堂での集会、全国規模の集会とはどんなものか見てみたくなかったですか？当日は三十度超えの快晴、野外音楽堂には多くの参加者が集まりました。今まで社会保障のためと言って結局は法人税などの穴埋めに使われ、公平な負担だと言いながら実際は不公平な消費税、まだその嘘が通ると思うほど国民は愚かではありません。会場から増税N0の大きな声が挙げられました。



全国総行動の様子

そして国会前、当日は歩道のみでよくニュースなどで見るような議事堂前の道路でアピールなどは残念ながら行われていませんでした。それでも多くの団体の方々が参加し国会周辺を包囲しながら辺野古の埋め立てをやめさせようとアピールしました。

沖縄県の民意を踏みにじり、生態系を破壊する、いつ完成するかもわからない無駄な工事、この暴挙に対して許さない、諦めないことを誓いあった集会でした。

(黒石薬局 薬局長/大川誠也)



5.24中央集会の様子

歴史を学び、先輩や同期と交流し、 民医連薬剤師の将来像を描く

五月二十五日～二十六日東京都神保町「TKPガーデンシティプレミアム神保町」にて、二〇一九年度全日本民医連新卒薬剤師初年度研修会が開催され、青森民医連からは四名の新卒薬剤師と、二名の引率職員が参加しました。

初日は、全日本民医連理事・薬剤師委員会委員長 高田満雄氏より民医連について、全日本民医連理事 金田早苗氏より「震災支援と民医連薬剤師の活動」についてのお話を聞きました。その後のグループディスカッションでは、薬剤師の道を選んだ理由や先輩薬剤師への質問、同期と今の悩みを打ち明け合うなど、大いに交流しました。

二日目は、

講師に詩人アーサー・ビナード氏を迎え「知らなかつた、ぼくらの戦争」というテーマでお話を聞き、日本の戦争について学び、憲法を巡る現状について考え、グループディスカッションでも各



全国の同期98名が集まったの記念撮影！

（青森民医連／山口理香子）



翌日午後に行われた北海道・東北地協オリエンテーションの様子

県連放射線部会・総会

学術発表と

ディスカッションによる

情報共有および技術力向上

五月十一日（土）、健生病院にて二〇一九年度県連放射線部会を開催し、津軽保健十四名、青森保健七名の計二十一名が参加しました。

今回は、情報共有を目的に各法人からの学術発表と二〇一八年度総括と二〇一九年度方針案の採択を行いました。



総会の様子

総括・方針案では、教育・経営・職場づくり・医療の安全・技師活動・社保平和の各視点による総括と二〇一九年度の方針案を提起し、賛成多数で承認されました。

二〇一九年度も若手の育成の場、各法人の情報共有の場として開催し、民医連の放射線技師としての育成と技術力の向上を目指していきたいと思えます。

（健生病院 放射線科技師長／大澤 洋）

第43期 事務育成責任者・事務委員長会議

6月6日（木）～7日（金）大阪市で開催された事務育成責任者・事務委員長会議に参加しました。全国より45県135名の仲間が集まり、共に学び交流を深めました。

会議は「第42期 事務育成責任者・担当者会議以降の前進点を共有する」「事務育成の課題をもう一步前進させるための意思統一をはかる」「多職種協働時代における事務の「役割」を改めて考える」ことを目的として開催されました。

1日目は、ファルマ弘前薬局の工藤事務長をはじめ、各県連や事業所から7つの事務育成政策の実践について報告されました。2日目の分散会ではそれぞれが抱える課題等を共有し、実践に結び付けるための討論が活発に行われ、各県連の事務育成に係る問題や課題はほぼ共通してはいますが、事業所などの規模や取り組むべき課

題によって実践の仕方は異なっていると感じ、大変参考になりました。

民医連綱領の冒頭にあるように、「私たち民医連（事務職員）は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織→（職員）です」を心に刻み、民医連の事務職員として誇りをもって様々な運動や活動を実践できる組織作りを進めたいと思えます。



会議の様子

（健生病院 事務局次長／鈴木直人）

県連事務局人事往来

5月1日付で津軽保健生協に採用していただき、5月13日に弘前事務所に着任しました。この春まで東京民医連で仕事をしていましたが、ご縁があり青森で仕事と生活をスタートしました。より良い医療と福祉の実現のために微力を尽くしていきたいと思います。



着任 はら けい すけ
原 圭輔
(青森民医連弘前事務所)

帰任 しもむら ひろ お
下村 博央
(青森民医連弘前事務所→健生病院 医局医学生課)

この度、津軽保健生協へ帰任になりました。県連には7年ほどお世話になり、医学生担当として多くのことを経験させていただきました。この経験を生かして次の職場でも民医連職員として頑張っていきたいと思います。

2019年・第30回

あなたの知らないアオモリ基地最前線

憲法と民主主義を考える5.3市民集会

5月3日(金)弘前文化センターにて5.3憲法と民主主義を考える市民集会実行委員会主催5.3市民集会が開催されました。

講師は東奥日報社編集局の斉藤光政氏で、「あなたの知らないアオモリ基地最前線」についてお話しされました。多くの人は「基地問題」と聞くとまず沖縄を連想しますが、私たちの住んでいる青森県にも多くの基地があり、陸・海・空軍、そして米軍が配備されているのは、日本では沖縄県と青森県だけです。

三沢基地には、F16対地攻撃機や最新鋭ステルス戦闘機F35など、多くの戦闘機が配備されています。米軍のF16はここ三沢から頻りに中東方面に派遣され、攻撃を繰り返しています。2003年のイラク戦争の時は、三沢基地からF16戦闘機が参加し、2014年のシリア内戦では、三沢基地発の爆撃機がイスラム国を空爆しています。勿論アフガニスタンへも飛び立っています。このことから、日本は交戦国ではないとは言えない状況です。

北朝鮮のミサイル実験が相次いで行われたときは、その飛行コースを北海道上空と発表しましたが、実際に飛んだのは津軽海峡上空です。金正恩は「有事の際

は日本の米軍基地を攻撃する」と宣言しています。ミサイルの航跡から第一の目標は沖縄ではなく三沢基地であることがわかります。何故なら対北朝鮮攻撃はここが拠点となることを北朝鮮は知っているからです。

しかし、この事実を日本政府及び日本にマスコミは隠し続けます。六ヶ所村には核燃料再処理工場があるので、ここを攻撃されたら膨大な放射能汚染により北半球に人類は住めなくなるだろうと言われています。安倍首相はこのとてつもないリスクをどう考えているのでしょうか。決して日本を守るためのものではなく、アメリカを守るための基地や戦闘機の配備をなぜ進めるのでしょうか。

F35、1機(116億円)の購入をやめるだけで、保育所4,000人分の設置が可能になるのです。

集会に参加し、改めて青森の基地問題について考える機会となりました。軍事強化をすることが日本を守ることはありません。兵器をもち、平和的に解決する道を進んでいくべきだと私は思います。(株式会社ファルマ 本部/阿部由希子)



5.3市民集会の様子

総代会・株主総会

津軽保健生活協同組合

●経営改善に向
けた取り組み
について



安田理事長のあいさつに続いて、来賓からあいさつがありました。三浦良成専務から第一号議案の二〇一八年度の事業報告・決算報告があり、総代からの質疑応答が行われました。その後、第二号議案の二〇一九年度の事業計画・予算などの一部提案がありました。お昼をはさみ新人医師の紹介、組合員等の表彰が行われ、第二号議案の一部提案と補足説明が行われました。補足説明では看護小規模多機能型居宅介護施設の開設について説明がされました。

が開かれ、総代百八人が参加し、開会されました。今年の総代会では、来年二月より開設する予定の看護小規模多機能型居宅介護の説明が重点的に行われました。獅子内専務と所長就任予定の小山訪問看護S.T所長より丁寧な説明があり、より地域に根差した医療と介護の実践に力を入れていく方針が総代会を通じて確認されました。議事運営もスムーズに行われ、議案決議もほぼ全会一致で採択されました。



株式会社 フアルマ

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

青森保健生活協同組合

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

八戸医療生活協同組合

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業



●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

一般社団法人 あおもり健康企画

とし、特に経営幹部等の育成を強化していくことを確認しました。

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業

●「かける」「つながら」「安心を結ぶ」で青森保健生活協を大きくし小規模多機能型居宅介護事業



うちの メコッコ

vol. 52

♥ name ゴルバチョフ(メス)

♥ age 1歳

今年の5月で、満1歳となったゴールデン・レトリバーです。名前は立派ですが、やんちゃでイタズラ盛り真っ最中です。我が家に迎えたときには、5kgほどの体重がいまや30kg。。。大きなカラダですが、とても人懐っこく、撫でてもらうのが大好きで、散歩やドッグランに行くと、撫でてほしくて、自ら人の側に寄っていき「撫でて♡」とアピールをします。普段も、家族の側にくっついてきて甘えるとても可愛い子です。我が家の大事な『娘』には、犬生《ケンセイ》を全うして、元気で長生きしてほしいと心から願っています。

(津軽保健生活協同組合 組織部/石田香織)



私の三つ星★★★★

オススメ 親子で漢字能力検定!



今年小学2年生になった息子に1年生で習った漢字の力試しにと6月開催の漢字能力検定10級をすすめました。あまり乗り気でない息子を後押しするため、「じゃあママも!」ということで、私は準2級を一緒に受けることに。本屋に行き問題集を買うところから始まり、週末は2人で過去問をやりました。字は汚いもの

のすらすら書ける息子に対し、私のできなさと言ったら半端ありません。普段どれだけスマホやパソコンに頼りきりになっているか改めて反省しています。読めるのに書けない、あと一步思い出せそうなのに出てこない、四文字熟語の穴埋めに関しては聞いたこともない言葉ばかりです。試験のために漢字の勉強するのは何十年ぶりのことでしょうか。どうして自分も受ける!と言ってしまったのか...後悔もありましたが、合間に少しずつ勉強をすすめ、徐々に楽しさを感じ始めました。さぼりながらではありますが、購入した問題集をす

べて解ききって本番を迎えました。自己採点はまだですが、私の結果はどうでしょうか...ちょっとダメかも。息子はできた!と賞状を楽しみにしています。W合格はできないかもしれませんが、一緒に頑張った実りある期間でした。漢字能力検定は年に3回あり、今年度は10月と2月にもあります。興味のある方はご自分の漢字能力を試してみたいはいかがでしょうか?私としてはしばらく遠慮します(笑)



(大野あけぼの薬局/野藤なつみ)

7月 2019年7月 第15回理事会報告

- >> 全日本民医連 第43期第17回理事会報告
- >> 決済承認事項
 - 業学生奨学生確保数変更の提案
 - 2020卒業医師の法人配置案について
- >> 会務報告/各委員会・医師委員会報告
 - 原水爆禁止2019年世界大会「民医連参加者交流会」
 - 全日本・地協各部門会議・研修
 - 医師委員会報告/既卒医師対策報告
- >> 協議事項
 - 「会長アピール」の活用について
 - 民医連の綱領と歴史を学ぶ大運動など

主な 今後のSCHEDULE

- 7/27 職場づくり交流集会 (花岡農村環境改善センター)
- 7/30 県連中期II期研修 (浪岡中央公民館)
- 8/23-24 県連1年目研修
- 8/28 県連中期研修
- 9/7-8 日本プライマリケア連合会東北ブロック支部学術集会

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IHREN

2019 7月号 380円 好評発売中

巻頭エッセイ/八木啓代さん

けんこう教室 難聴と認知症

オリンピック選手村疑惑

素顔の平壤

まちのチカラ 群馬県嬭恋村

食と健康 夏バテと熱中症予防

発行=胸保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657